

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：大村精二 幹事：佃 一成

情報委員長：中村三次

1984・6月28日 第268号

ご協力有難うございました

1983～1984年会長 大村 精二



「ロータリーは断わることが出来ない」と先輩から教えられた憲法でもって誠に若輩者の私がクラブ創立10年目という意義ある年度の会長を務めさせていたゞきましたが、この一年間、クラブ会員の皆様方の本当に温かいご理解と積極的なご協力で数々の成果を修めつつこの大役を終えることが出来ました事を心から嬉しく思い厚く御礼申し上げる次第であります。

何はともあれ「10周年を成功させよう」と言う合言葉で実行委員会が大変な準備をされ10月15日市文化ホールで立派な記念特別例会が行われました。式典、記念講演、記念美術展、記念茶会、祝賀会等どれこれも大成功でした。今でも他クラブから「金沢北RCの10周年は大変感銘が深かった。我我にはとてもまねが出来ない」と賞賛されております。

又、記念事業として5年前より周到な計画のもとに進められておりました「金沢北地域誌香我の譜」は見事な出来栄で出版され、ロータリーの新しい奉仕活動として各方面より多大の反響を呼びこれに対し地区特別業績賞を受賞致しております。

更に今年度より新しく計画された金沢城北地区少年武道錬成大会は400名以上の参加者を得て10月30日、石川県立武道館にて盛大に行われ、恵む奉仕でなく育てる奉仕、地域に根ざした奉仕活動として評価をされております。その他国際奉仕の交換学生プログラム、或いは職業奉仕の行事種々の継続事業、クラブ奉仕のそれぞれの活動等、一々列記出来ませんがそれらを力一杯、根気良く奉仕の誠を尽され、しかも例会出席率100%に達した月が3回もあるなど、正にロータリーの根幹をご理解された賜であり、心から敬意を表するものであります。

こうした当クラブの今年度の活動実績に対して去る17日、地区協議会の席上にてRI会長賞が伝達されましたことは当クラブの荣誉と感謝致しております。

我々はこの意義あるクラブ創立10周年に培かわれた素晴らしい英知と情熱と友情を更に更に20年、30年に向けて持ちつづけて行こうではありませんか。

最後にあたり私の如き浅学非才の者に対し役員、各委員長、そして会員の皆さんが本当に献身的にご協力いたゞきました事を重ねて心から感謝を致し、厚く御礼申し上げます。

有難うございました。

10周年幹事を終えるにあたり

1983～1984年幹事 佃 一 成



若輩者の私が上田さんより幹事役を引き継いで、おかげで一年たちました。私にとっては色々勉強にもなり有意義な経験をさせていただいたと、今になって感謝しております。

10周年幹事という大役の一年を顧りみて、今さらながら大村会長をはじめ理事の方々や会員諸兄の協力、事務局の広沢さん、そして金沢4ロータリークラブ事務局の皆様には大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

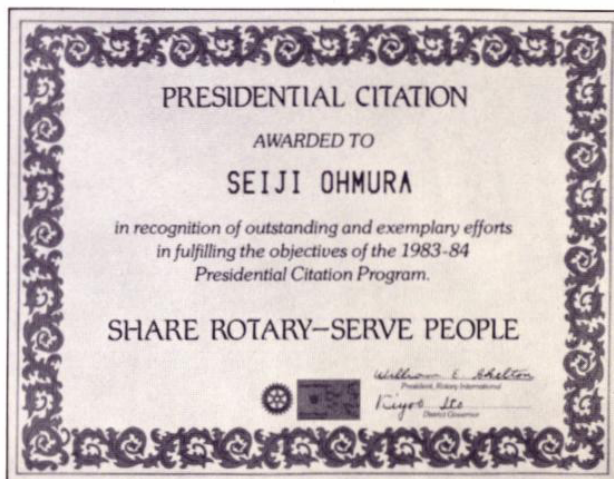
「みんなにロータリーを——みんなに奉仕を」というRIウィリアム・E・スケルトン会長のターゲットにもとずき、大村会長の「心と行動の奉仕——新しい奉仕の道」を指向された一年間の数多くのすばらしい事業は北クラブ会員が心をつにして、友情をたしかめながら努力した結晶でした。

まず、今年を中心事業は何んといっても10月15日のクラブ創立10周年記念例会であります。南光州クラブ及び京都洛北クラブ員の参加をはじめ多くの来客の協力のもとに金沢市文化ホールに華開いたすばらしい祭典は北クラブならではの内外ともに賞賛をうけました。特に記念事業である金沢北郷土誌「香我の譜」の出版には伊東ガバナーより地区の意義ある業績賞をいただきました。その他、職場親善野球大会、女子球技大会、伊東ガバナー公式訪問、カナダ交換学生ディラン・グラハム・リース君の受け入れ、浅田松太君、木下幸二君の交換学生留学、輪島での地区年次大会参加と夜の「漁火炉辺会合」、城北地区少年武道練成大会、金沢5RC合同のゴルフ大会と新年例会のホスト役、年忘れ家族例会、南光州RCとの懇談会等かなり多忙な日々でありましたが、思い出深い一年間となりました。

充分でなかったかも知れませんが、私なりにまあまあ無事全事業をお手伝いさせていただきましたことに対して、この上ない満足を感じています。何よりうれしいのは6月17日の地区協議会にてRI会長賞を受賞した事です。この賞は当クラブに対して、会員増強、新しい社会奉仕事業(少年武道大会)、地区大会参加者数、交換学生受け入れ、香我の譜出版、新国際奉仕事業(中学理科研究ビデオをヨーバ・リングへ)等に対して与えられたものでありますが、記念すべき10周年年度の礎石となるのではとクラブ員各位と共に喜びたいと思います。

いよいよ11年目としての当クラブは次なる10年、20年に向けて地域や時代を超越し、さらに新しいロータリー奉仕の道を歩んで行くではありませんか。

最後に会員皆様のご健康を御祈りし、併せて私に対して、一層のご指導、ご友情をお願い申し上げ一年間のお礼にかえさせていただきます。



大村～佃、内閣ご苦労さま

◇この1ヵ年の業績を顧みて◇

柴田 三郎

始めに……

……ロータリーでは「十年一節」と、よく謂われている。10年も経てば最初の緊張も次第に緩んでクラブ運営がマンネリー化する例は多々ある。一方、10年も経過すれば、いよいよ磨きもかかって来るのもある。歴史ある本場、アメリカのロータリークラブでも、世界一急速に増大した日本のロータリークラブでも、クラブ個々の顔は同一である。が、その中味には雲泥の差があるようである。

“Stop and Think”と言う表現がある。“立ち止まって考える”と解釈しているが、私は、この言葉が好きである。事業経営においても、個人生活においても、また、ロータリーのような団体機関の活動にあっても、極めて肝要なことである。時々立ち止まって過去を振り返り、反省しつつ更に、これから先を考えつつ、一段と活性化を計ることこそ、健全なる前進充実への必須条件であろう。

クラブ運営において、適当にお茶をにごして1ヵ年を了えても、殆んど何等の制裁もない。甚しきは、熱心なるロータリアンに対し、ロータリー狂と蔭口する輩さえある。それに押されては、ロータリーは“高遠なる奉仕”を忘却した単なる昼飯会になり下がり、胸に輝くロータリーのバッチが泣く次第である。

われらの金沢北RCは、意義ある10周年を迎えるに当たり、大村会長～佃幹事を主軸とする強力なる新内閣を誕生せしめ、58年7月1日、輝かしくスタートした。大村会長は就任の辞として「新しき奉仕への道」を打ち出した。佃幹事は「5年後、10年後のビジョンを考え……」と、それぞれ力強い抱負を宣言された。果然、多彩な10周年の年度が展開され、輝かしく成果を挙げつつ、アツと言う間に有終の美をおさめて、意義ある、この1年を完結したのである。今、その足跡を顧みて、会長、幹事、役員、理事、委員各位一致の成果に、深く敬意を表し、併せて「よくぞ、やって下さった」と、謝意を捧げて止まない。

会員一人一人、それぞれに重要な職務を抱えているので、折々に、ロータリーの任務に、時と頭を貸さねばならないことが多々あるが、「これぞロータリーの言う奉仕の第一歩なり」と覚悟し、メンバー全員、新旧、老若を問わず、廻り番で任務につかねばならない。この掟こそ、ロータリーの素晴らしい仕組であり、妙味あるところである。敢えて言うなれば、メンバーの貴重なる義務であり、特権である。さて、このあと次年度を受持たれる諸彦は、理想なる金沢北RCの実績への積み重ねに11年目を頑張ってもらいたいものである。

金沢北RC、10周年の主なる実績

- ① 7月21日、柴田三郎会員著の“随想、私のロータリー三十年”を全会員に頒布。
- ② 7月27日～8月10日、第8回職場親善野球大会を開催。精鋭7チーム参加、年々レベル・アップし、最後まで予断を許さぬ熱戦が展開され、職業奉仕委員会の貴重なる年中行事として定着した。
- ③ 8月4日、ベルギー短期交換学生が261地区へ53名来日、当クラブでは6名を下村、石丸、飯野、木島会員宅にてホームステイされた。
- ④ 8月5日、交換留学生として木下幸二君がアメリカへ。8月13日には浅田松太君がカナダに向けてそれぞれ出発した。両君ともに当クラブメンバーの令息である。又、8月20日、カナダより、ディラン・リーズ君が当クラブの受入れにて来日。金沢桜丘高校にて学ぶことになり、大村、浅田、上田、木下、高島会員宅にてホストステイされた。
- ⑤ 8月25日、伊東清雄ガバナーの公式訪問を受けた。ガバナーは当クラブの活動振りと業績に対し絶賛の講評があった。
- ⑥ 9月22日、かねて友好提携（昭和51年以来）の京都洛北RCの10周年記念例会に当たり、当クラブより代表数名参加し祝福した。
- ⑦ 9月29日、当クラブ例会に元RI会長（1974～75）ウィリアムR・ロビンズ氏が夫人と共に来訪、第500回例会に華が供えられた。

- ⑧ 10月1～2日、輪島市における地区年次大会に、当クラブ会員20名参加。米山記念奨学会協力優秀クラブの表彰を受けた。同夜、民宿「漁火」に宿泊、夜を徹しての炉辺会談は極めて有意義であった。
- ⑨ 10月15日、かねて計画中の当クラブ創立10周年記念例会を特設の金沢市文化ホールにて開催。来賓、江川市長を始め、県内各RC会員多数の参加あり、記念事業として金沢北地域誌「香我の譜」の出版披露。金沢北RC会員とその一門による記念美術展及び記念茶会が催された。この間、木村治美女史の記念講演「こころの時代・ことばの時代」は、ロータリーの計画に極めてふさわしい名講演で感銘深いものがあった。このあと懇親会となり交々、友好を深めつつ和やかな親和のグラウンドが展開された。特に京都洛北RCおよび遠来の南光州RC（韓国）の友情参加が光っていた。
- ⑩ 10月30日、石川県武道館において、金沢北地区の小・中学生を対象の第1回「金沢城北地区少年武道練成大会」を開催し、300名を超える参加を得て、盛況有意義な成果を見、クラブ10周年記念事業として、少年対策としても益々、将来への展望が期待されるものとなった。
- ⑪ 11月3日、金沢5RC合同ゴルフ大会を、片山津ゴルフ場にて、当クラブのホストにて開催、親睦を深めた。
- ⑫ 12月15日、クラブ年次総会を開催。次年度役員、理事、委員など選衝。
- ⑬ 12月22日、恒例の年忘れ家族同伴の夜間例会を145名の参加で開催。
- ⑭ 12月26日、金沢東RC（スポンサークラブ）との年1回の合同例会を開催。
- ⑮ 1月6日、金沢5RC合同新年例会を金沢市文化ホールにて348名の参加を得て開催。ホストを担当。
- ⑯ 2月26日、第8回職場親善女子球技大会を開催。バドミントン及び卓球の熱戦を展開。夏の野球大会と共に当クラブの継続事業として定着、今や意義ある事業となった。
- ⑰ 3月4日、伊東ガバナーの名において、「地区特別業績賞」が、次期会長・幹事研修会の席上、当クラブに授与された。これは当クラブが10周年記念事業の軸として出版した「香我の譜」の労作に対する顕彰である。
- ⑱ 6月3日、第24回金沢5RCゴルフ大会が片山津にて開催され、参加72名。当クラブは2年振り団体優勝し、併せて個人優勝も、われらの木村丹二会員が獲得した。
- ⑲ 拡大……この1ヵ年における新会員は次の7名に及んだ。浅田拡大委員長の大変なご努力の結果であり、近年の傑作である。新しき、われらの同志を心から歓迎して止まない。越元陽二郎、新谷正満、市川則人、大場吉美、安宅雅夫、木村丹二、越田和好の諸君。更に今期末決定の新会員に中島汎仁、村田完二、小坂友夫の諸君ら3名を迎えることになり、合せて10名の拡大となった。なお、当クラブ事務局担当の広沢正美さんに、5月17日、健やかな男児が誕生した。その名は祐介ちゃん、ご成長を祈る。
- ⑳ 国際協力……ロータリー財団の拠金は昨年11月末現在の累計16,239.53\$となり、3,100%に達し、この内フェローは14名に及んだ。一方、米山記念奨学会は今年度末累計8,250,000円に及び引き続き当地区のトップであり、この内米山功労者は18名となり、抜群の国際協力である。

終りに……

……今年度の最終例会は6月28日である。会員夫人も参加して、現内閣の労を犒らい、併せて新内閣への激励とご苦労をお願いする意義ある集いとなることであろう。

6月21日の例会における講演は、掉尾を飾るにふさわしい、今をときめく渋谷工業会長、渋谷亮治氏のたくましい内容であった。本岡企画委員長、この1年、ご心労だったであろう。お察しに余りある。

この日、思いがけぬホームランが披露されて、一同の割れるような拍手となった。去る地区協議会の席上、この地区48RCの内から4名の今年度会長が、RI会長と地区ガバナーの名において顕彰された。その一人が、われらの大村会長であった。宜なるかな、ロータリアンとして輝やかしい限り。クラブとしても欣快この上もない快挙となった。而して拙稿の最後を飾ることになったのは嬉しい限りである。 謝々

この一年を
ふり返って

Dylan Rees
ディラン・リース



お別れのあいさつをするのは私にとって
むずかしいことですが、なせなら私はみなさんに
おなると言いたくないし、家にリネリたくない
からです。この一年は私の人生の中で、もっと
もこうふんし、こうんし、しあわせな時でした。
そして今は一番かなしい時です。とてもおしい
です。何とかなしめの気持ちをおわしてよい
かわからないくらい、みなさんは親切でした。

日本に初めて来た時
私は日本について何も知りませんでした。ただ
おしみを食べてどこにでも芸者さんがいるのだと
思っていました。東京から小松までのひこうきの
中で、他の交際相手は達と"はいめまして"という
言葉を何度も練習したことを思い出します。
しかし小松で第一ホストファミリーの大村さん
に会った時、私が訪した言葉はハロー
でした。その夜私の日本での最初の食事の
ハンバーグステーキとおしみを食べました。
初めて食べたおしみのおかげで、次の日
私は気分がよくなりました。でも今はもう
小買れました。また13時間の時差ホケ
が、2~3日おさまりました。こうんにも大村さん
のお姉さんもお兄さんとも英語を話すこと
ができたので助かりました。お一家庭は
一番大へつで、莫金しいと思います。だから、
よく大村さんへお礼がとうございましてと
言いたいです。第二ホストファミリーのミモ田
さんのおたくでは、人々のために反
して私は毎日六角堂のステーキを
食べていたわけでは、ありません。とても
素晴らしい家で、そこからのなかがめは
とても美しかったです。小むしい
にもかわらず、毎日おべつとうを作っ
てくれました。

私がミモ田さんの家にいる時、ショウタ
君は、カガタの私の家におりました。
はやく私のホストファミリーになってくだ
けた上田さん、とうもありがとうございまして。
上田さんのお宅で私は日本のお正月
をおごしました。また次のホストファミリ
木村さんのほうだいの方にもしんせつ
にしていたが、ほました。最後のホスト
ファミリーの高島さん、いろいろありがとう
ございまして。

また、学校での最初の
けいけんは、みんなが私をゆかして
見て、ハローとさけんだことでした。
もちろんその時私は日本語が、ぜんぜん
わからなかったのも、とてもむずかしかった
です。しかしすべての先生また
校長先生のおかげで私は日本の
学校生活になれることができました。
表先生は一生けん命に私に日本
語を教えしてくれました。中村先生も
私にわかるように、牛寺呂りにイヒ字を
教えくれました。あまりわからなかった
けれど、楽しかったです。

私にこのけいけんを
与えてくれた全ての人々に、厚く言身射
しています。私はみなさんの親切を、シタ
して、忘れません。みなさま、方もせし
カガタに来て下さい。

